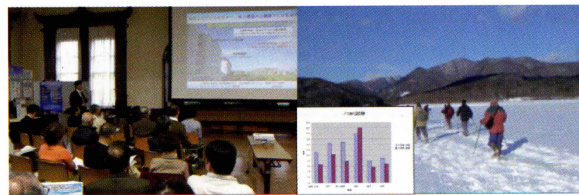


■道内各地で進む「ヘルスツーリズム」の取り組み【北海道大学 西村孝司教授他】

NPO法人イムノサポートセンター理事長を務める、北海道大学遺伝子病制御研究所 免疫制御分野の西村孝司教授は、食・健康・環境・医療を横断的に結びつけ、体内環境の改善を目指す「ヘルスツーリズム」を提唱。ヒト体内環境の改善を目指したスギ花粉疎開ツアーやメタボ対策ツアー等を企画・実践するなど、医科学的根拠に基づいた健康を考える観光を道内各地で主導している。西村教授は、ヘルスツーリズムの更なる普及に向け、その効果を客観的に示すデータの重要性を強調。2009年10月には、支笏湖温泉旅館組合と連携し、温泉入浴、散策コースのトレッキング、健康メニューの試食等を行い、それぞれの実施前後に医師が血圧や血糖値を測定して健康への影響を調べる実証実験を実施した。また、食育と免疫の体験や3世代農漁村体験ツアー等、様々な普及活動を推進している。



ヘルスツーリズムは医科学的根拠に基づく健康回復・維持・増進

